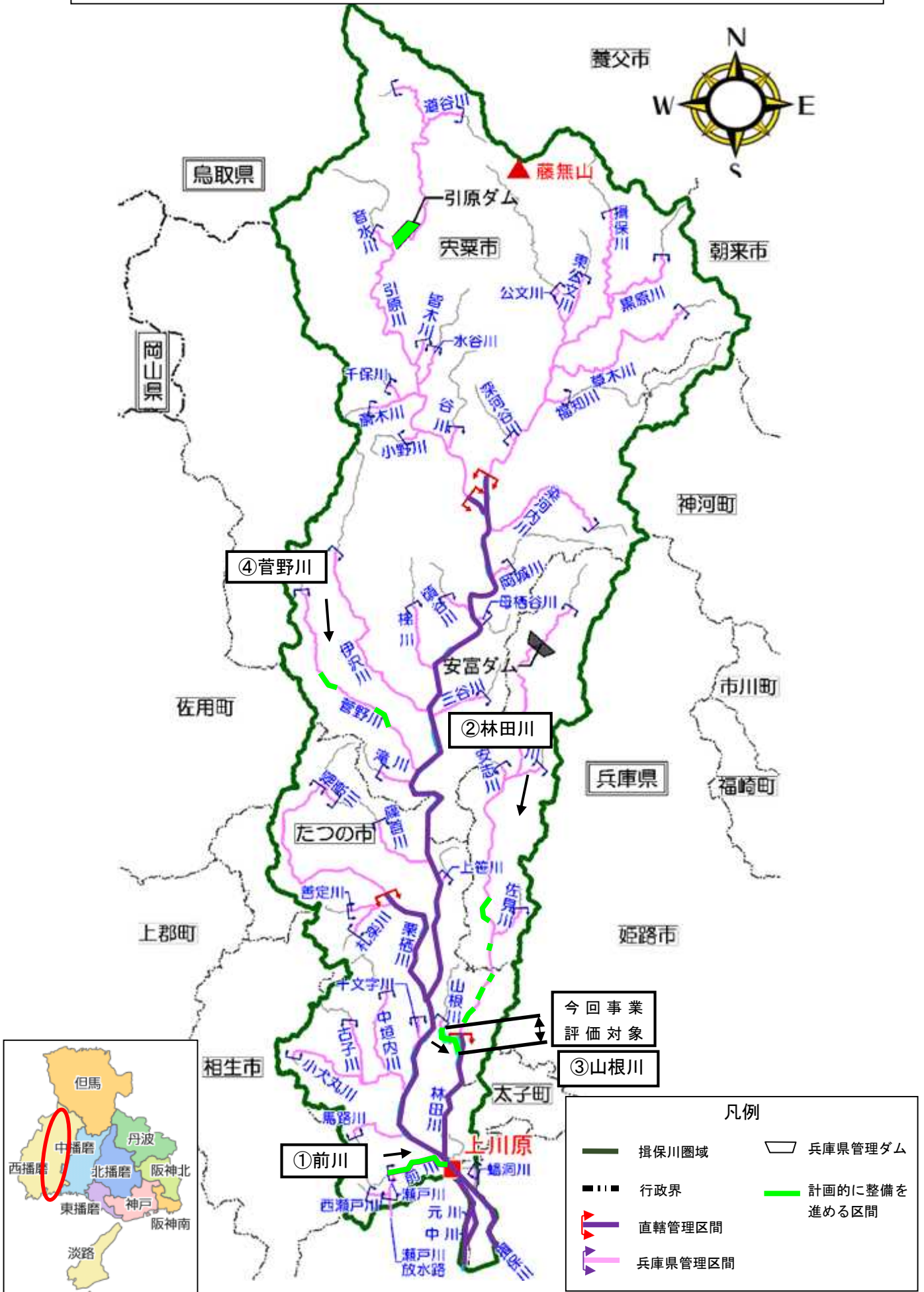


令和3年度 投資事業評価調書（継続：再評価〔第1回〕）

部課室名	県土整備部土木局 河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 勝野 真 (企画整備班主幹 森野 正之)	内線	4408 (4437)	
事業種目	河川事業	水系名	揖保川水系			
事業目的						
<p>揖保川水系揖保川圏域において、令和2年1月に策定した河川整備計画に基づき、計画的に河川改修事業を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。</p>						
揖保川水系揖保川圏域河川整備計画における「計画的に整備を進める区間」						
支川						
	区間	延長	整備目標	事業の状況	前回評価年度	
①	前川（市場橋）	—	戦後最大の被害が発生した昭和51年9月の洪水と同規模の洪水を安全に流下させる。	事業中	評価対象外	
	前川	1.9km		未事業化	—	
②	林田川 入野沢田橋～入野橋	0.7km		未事業化	—	
	林田川 神岡橋上流	0.4km		未事業化	—	
	林田川 鳥井橋上流	0.4km		未事業化	—	
	林田川 新町橋上流	0.2km		未事業化	—	
	林田川 八幡橋上流～不動橋下流	1.5km		未事業化	—	
③	山根川	1.8km		事業中	H28(2016)整備計画策定報告	
④	菅野川 古木谷橋下流～市場橋下流	0.22km		昭和51年9月の洪水と同規模の洪水に対し、浸水被害を軽減させる。	H29(2017)完	評価対象外
	菅野川 木谷橋～市場橋	0.78km			事業中	R1(2019)新規事業評価公共審査対象外
	菅野川 三田橋～門口橋上流	0.68km	未事業化		—	

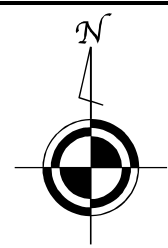
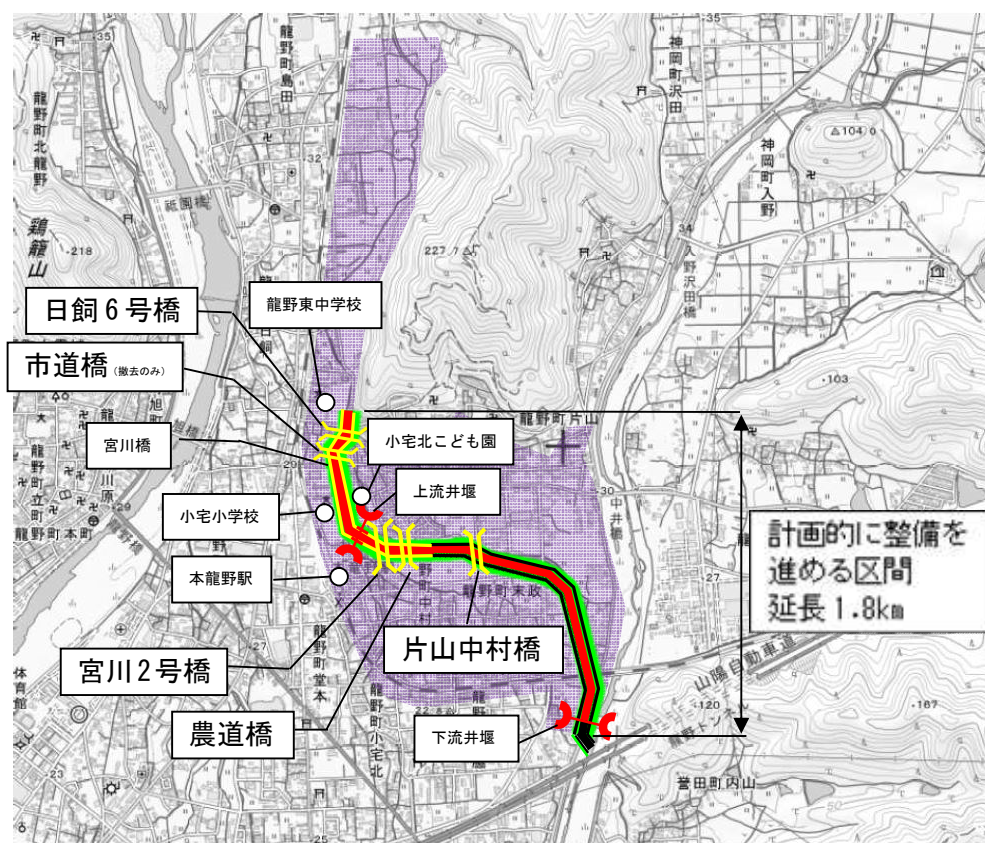
揖保川水系揖保川圏域 河川整備計画 全体位置図



【山根川】

事業概要および進捗状況				今回評価内容 () : 前回評価時点			
工区	事業区間	整備内容		全体事業費	進捗率	残事業費	完成予定年度
山根川	たつの市龍野町末政～たつの市龍野町日飼	築堤・護岸、河床掘削、橋梁架替4橋、井堰改築2基等	事業費	12億円 (12億円)	58% (0%)	5.0億円 (12億円)	R8 (R8)
			内用補	3.5億円 (3.5億円)	100% (0%)	0億円 (3.5億円)	
事業を取り巻く社会経済情勢等の変化	気候変動の影響により、近年、豪雨災害が頻発化・激甚化していることから、河川改修に対する地元の要望は強まっている。 【前回評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】 変更なし。						
進捗状況	[用地関係] 令和2(2020)年度に完了 [工事関係] 宮川橋下流までの築堤・護岸（上流井堰付近を除く）、橋梁が令和2年(2020)年までに完了。						
評価視点	評価結果の説明						
審査会意見及び対応方針(H28年度策定報告)	【審査会意見】 意見なし。			【対応方針】 —			
(1) 必要性	① 現況の流下能力は概ね10m ³ /s（左岸水路流入点～県管理上流端）であり、計画流量40m ³ /sが確保されていないことから、河川改修を進める必要がある。 ② 揖保川水系は、昭和51(1976)年、平成2(1990)年、平成21(2009)年などに発生した洪水により、甚大な浸水被害が発生している。また、平成30年7月豪雨など全国で記録的な降雨による災害が頻発していることから、河川改修に対する要望も強く、事業の必要性は高い。 【過去の主な浸水被害】※揖保川流域全体の被害戸数 ・昭和51年台風第17号 [浸水家屋3,034戸] ・平成2年台風第19号 [浸水家屋656戸] ・平成21年台風第9号 [浸水家屋528戸]						
(2) 有効性 ・効率性 (事業執行環境)	① 費用便益比B/C=13.0（河川整備計画における全ての事業による費用便益比） ② 事業促進に対する地元の協力体制が概ね確保されるとともに関係機関との協議・調整が進んでおり、事業執行環境は整っている。						
(3) 環境適合性	動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮し、河口部から上流部までの縦断的連続性、周辺の水田などとの横断的連続性を確保、みお筋や瀬・淵が連続する川らしい河川環境の再生と保全に努める。						
(4) 優先性	河川周辺に人家連担部やこども園、小中学校があり、流下能力不足による大きな浸水被害が想定されるため優先的に整備を完了させる。						
の再評価結果	継続	左の理由	事業の必要性は事業採択時から変わっておらず、地域住民の安全安心な生活環境を確保するため、事業を継続する必要がある。				

山根川 整備概要図



出典：国土地理院ウェブサイト

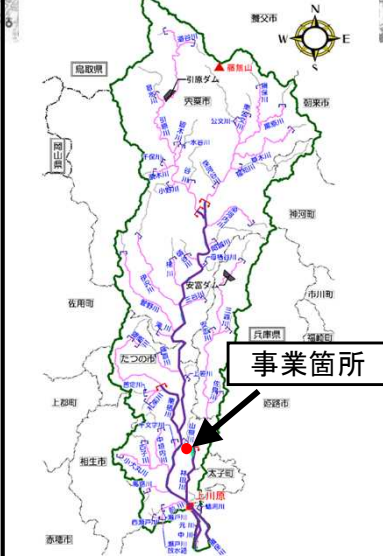
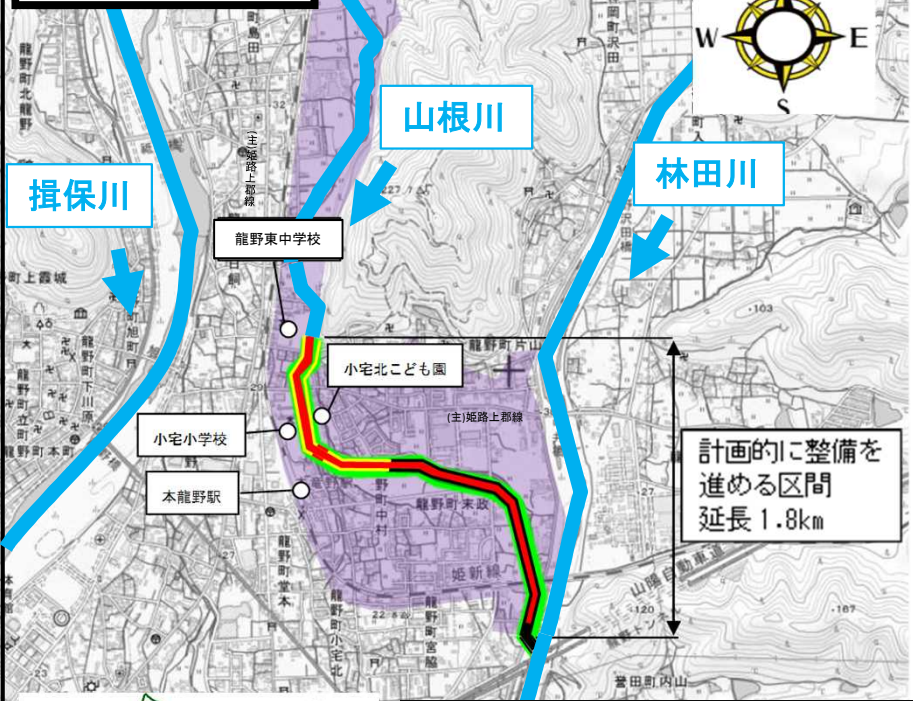
S51.9台風第17号の浸水範囲

凡 例	
黒	H28(2016)まで
黄	H29(2017)～R3(2021)
赤	R4(2022)以降
緑	河川整備計画において計画的に整備を進める区間

工区	河川整備計画全体 H29(2017) ～ R8(2026)	前回評価まで	前回評価から R3(2021)まで	今後5年間 R4(2022) ～ R8(2026)
山根川	【事業費＝12億円】 ・整備延長 L=1,800m ・整備概要 築堤・護岸、河床掘削 橋梁架替4橋 井堰改築2基 サイフォン設置1基 等	H29(2017)まで 【事業費＝0億円】	【事業費＝7億円】 ・築堤・護岸 ・橋梁架替4橋 ・サイフォン設置1基 等 流下能力の向上	【事業費＝5億円】 ・築堤・護岸 ・井堰改築2基 ・河床掘削 事業区間全体で、目標流量を安全に流下

河川事業 一級河川揖保川水系山根川（継続：再評価〔第1回〕）

位置図



S51.9台風第17号の浸水範囲
出典：国土地理院ウェブサイト

- ### 凡例
- 改修済み区間
 - H29(2017)～R3(2021)
 - R4(2022)以降
 - 河川整備計画において計画的に整備を進める区間

目的

戦後最大の被害が発生した昭和51年9月の洪水と同規模の洪水を安全に流下させる。

事業概要

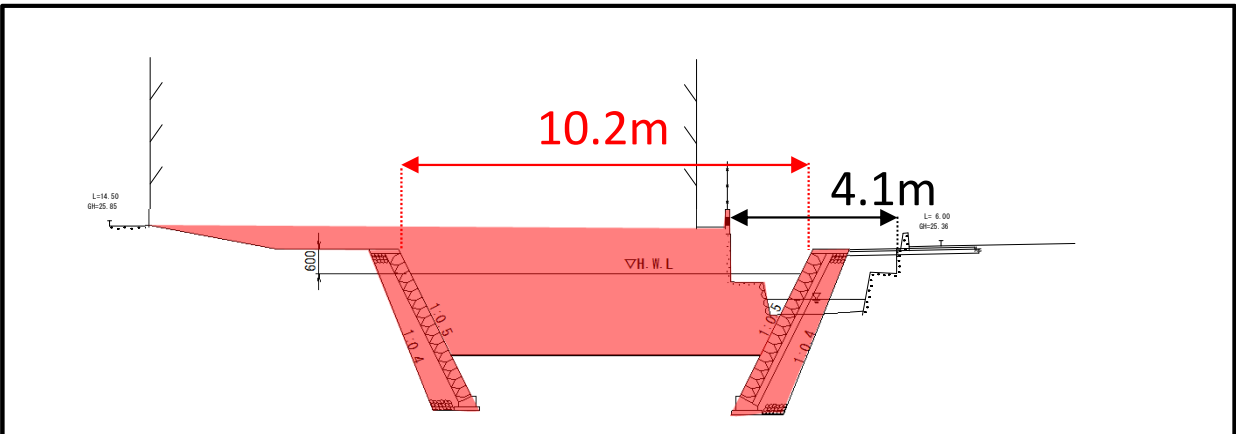
事業区間：たつの市龍野町末政
～たつの市龍野町日飼
総事業費：12億円
内用地補償費：3.5億円
事業期間：平成29年(2017)～令和8年(2026)
事業概要：築堤・護岸、河床掘削、
橋梁架替4橋、井堰改築2基等
延長：1.8km
費用便益比B/C：13.0(河川整備計画における全ての事業による費用便益比)

浸水実績

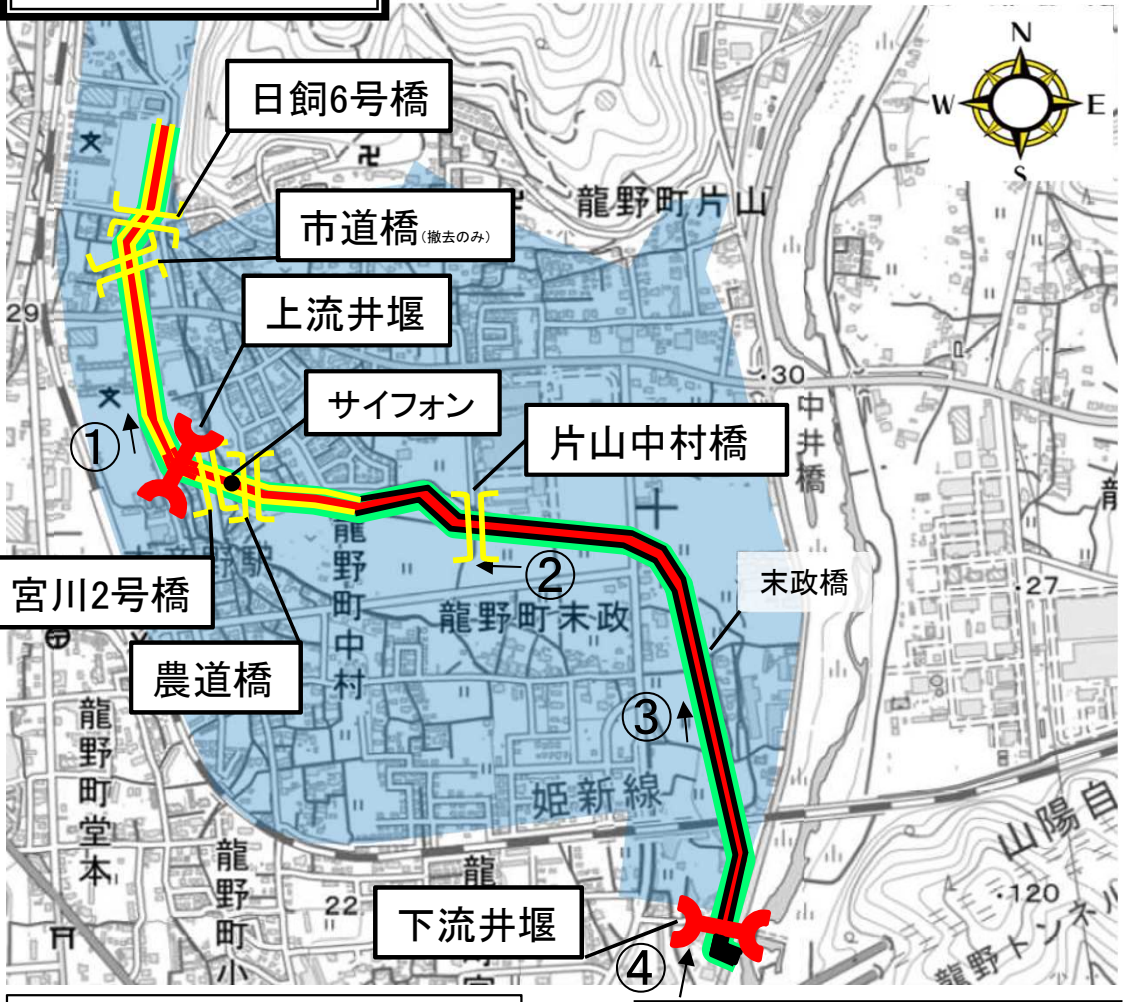
浸水実績(平成2年9月台風19号)



横断図



事業進捗平面図



■ S51.9台風第17号の浸水範囲

出典：国土地理院ウェブサイト

凡例

- 改修済み区間
- H29(2017)~R3(2021)
- R4(2022)以降
- 河川整備計画において計画的に整備を進める区間

現況写真

① 暫定完成区間 (小宅小付近)



② 暫定完成区間 (片山中村橋付近)



③ 残事業区間 (末政橋付近)



④ 残事業区間 (下流井堰付近)



工程表

■ : 前回計画
■ : 実施・計画

		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
山根川	用地	■	■	■							
	築堤・護岸		■	■	■	■	■	■	■	■	■
	河床掘削						■	■	■	■	■
	橋梁架替4橋	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	井堰改築2基		■	■	■	■	■	■	■	■	■
	サイフォン設置1基		■	■	■	■	■	■	■	■	■

事業の有効性・効率性

(1) 費用対効果

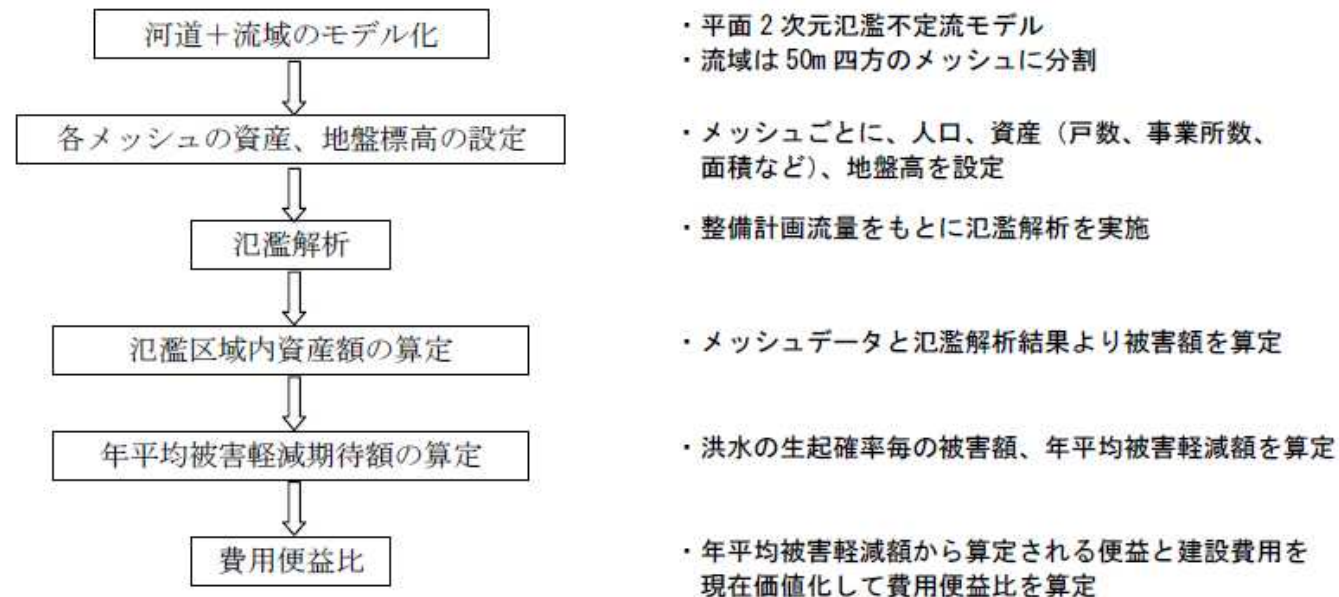
① 便益(B)の項目

評価の視点	効果項目(費用対効果の便益内容)
治水安全度の向上	浸水被害の軽減 <ul style="list-style-type: none"> ・一般資産被害(家屋、家庭用品、事業所償却資産、農業家償却資産等) ・農産物被害、公共土木施設等被害、営業停止被害、応急対策費用

1) 便益 = 「治水事業を実施することによる被害軽減期待額」を現在価値化

$$\text{被害額} = \text{一般資産被害} + \text{農作物被害} + \text{公共土木施設等被害} + \text{営業停止被害} + \text{応急対策費用}$$

2) 費用 = 「建設費 + 維持管理費」を現在価値化



② 費用便益比(B/C)算出根拠

B(便益)		C(費用)			B/C
便益額	代表的な効果	総費用	事業費	維持管理費	
67959.4 (百万円)	計画規模の降雨に対して浸水面積105ha、浸水1061世帯の解消	5219.5 (百万円)	4697.1 (百万円)	522.4 (百万円)	13.0

※河川整備計画における全ての事業による費用便益比

(2) 費用対効果に含まれない効果

評価の視点	効果項目
社会経済活動等の安定	人的被害の軽減
	道路、鉄道等の交通途絶による波及被害の軽減
	医療・社会福祉施設、防災拠点施設、文化施設等の被害の軽減
	水害廃棄物の発生の軽減
魅力ある河川空間の創造	多様な生物の生活環境の保全・再生・創出
	親水空間の整備・景観への配慮

該当する事業内容等	
○	・浸水区域内の人口2,568人の解消
○	・(主)姫路上郡線の交通途絶を解消(交通量13,972台/24h) ・JR姫新線の交通途絶の解消(利用者数3,934人/日)
○	・龍野東中学校、小宅小学校、小宅北こども園の浸水の解消
○	・水害廃棄物530t、処分費用1,484万円の解消
○	・環境配慮型のブロックなどを用いた護岸や滯筋を整備することにより、多様な生物の生活環境への影響を最小限にとどめる
○	・自然環境の保全・創出に伴う河道内の自然景観の創出

(3) 地域からの要望状況等

要望状況等	・毎年、西播磨市町長会より改修促進の要望がある。
-------	--------------------------

参考：事業の変遷

昭和51年：台風17号(浸水家屋3,034戸)※
 昭和55年：山根川改修工事着手
 (1.8km：林田川合流点～日飼)
 平成 2年：台風19号(浸水家屋656戸)※
 平成10年：事業評価(再評価)
 平成15年：事業評価(再評価)
 平成19年：河川整備基本方針策定
 平成21年：台風第9号(浸水家屋528等)※
 事業評価(再評価)
 平成25年：整備計画策定中間報告(再評価)
 平成29年：河川整備計画策定
 令和 1年：河川整備計画変更
 ※ 揖保川水系揖保川圏域河川整備計画による